

事業所名 放課後等デイサービス ハーモニー

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念	社会福祉法人 若葉 法人理念：「すべての人が地域社会で普通の生活をする」そんな地域を作る		
支援方針	個の活動が充実し、自信を持てるように支援します。成功体験を積み、集団のなかで力が発揮できるよう支援します。 他校、他学年との交流を図りながら、協力すること、思いやり、助け合いのところが形成できるよう支援します。 外活動では、因島の自然を味わえるような体験を通して、楽しい経験を獲得できるよう支援します。 小集団を通して、個の表現力が育つよう支援します。		
営業時間	15 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	☑あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	クッキング⇒料理やお菓子作りなどを通じた食育。 切り替え ⇒視覚、聴覚を取り入れた、時間に応じた行動の切り替え。 構造化 ⇒構造化を意識した掲示物、子どもへの指示。 身だしなみ⇒トイレトレーニング、着替え整髪等の身だしなみの確認を支援者とする。	
	運動・感覚	運動療育⇒運動（鬼ごっこ・風船バレー・ドッジボール等）、散策（山登り、砂浜等） 配慮設定⇒感覚過敏の子どもについては、別物を用意。例）音過敏で風船が苦手、割れる音が不安⇒ソフトボールを使用。	
	認知・行動	感覚や認知の活用⇒ブロックなど立体の造形物を使った創作活動。	
	言語 コミュニケーション	指差し、身振り、サイン等の活用⇒指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 コミュニケーション機器の活用⇒各種の文字・記号、絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	
	人間関係 社会性	模倣行動の支援⇒活動や遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 一人遊びから協同遊びへの支援⇒大人が介入することで役割分担や、ルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 自己の理解とコントロールのための支援⇒大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。	
家族支援	必要に応じて、居宅訪問、事業所対面を行い、お話を聞きます。 保護者の同意を得た上で、関係機関等へ情報共有を行います。	移行支援	他施設への通所移行が決定している場合、保護者の同意を得た上で、関係機関等と情報共有を行います。
地域支援・地域連携	避難訓練	職員の質の向上	研修⇒医療福祉系の専門サイトによる事例集、講座等の視聴。 交通安全、虐待防止等の法人研修、市が開催する会議参加。 会議⇒ケース検討、活動内容の確認等。
主な行事等	イベント⇒季節を取り入れた活動。例）春…花見 夏…縁日 秋…紅葉 冬…クリスマス会、年賀状づくり等。 日頃の活動については、週ごとに活動内容を変更しています。例）屋内…SST、室内ゲーム、室内運動、掃除体験、クッキング等。 屋外…地域の公園等、散策体験、清掃体験等。		